

～栗田から心・かかわり・絆をつなぐ“ライン”を目指して～

# K-ライン

秋田県立栗田支援学校  
地域支援通信  
令和7年度 第1号  
令和7年5月9日発行

今年度もK-ラインでは、栗田支援学校から特別支援教育についての情報を発信していきます。また、先生方からお気軽にご相談いただけるように努めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 子どもからスタートする

校長 神部 守



新年度がスタートして約1か月が過ぎました。子どもたちは新しい学級にも慣れて、生活のリズムが整ってきた頃だろうと思います。栗田支援学校でも、小学部、中学部、高等部合わせて71名の新入生を迎えて令和7年度をスタートしました。新年度を迎えるにあたり、私から職員に「大事にしたいこと」として次の2点をお願いしました。

### ① 子どもからスタートする

児童生徒一人一人の実態把握に努め、その実態把握に基づいた適切な目標設定と、達成のための手立てを工夫し、一人一人を確実に成長させましょう。

### ② チームで取り組む

多様な子どもたちを指導するために、学級だけでなく学年部や各学部が一体となり、学校全体で子どもを育てることを目指しましょう。保護者も子どもを支えるチームの一員として考えてください。

これらのことは、私がこれまでセンター的機能や高等学校特別支援チーム（私が関わった当時は高校支援隊という名前でした）などに携わり、様々な園や学校を訪問させていただいた中で教わったことでした。「児童生徒理解に基づく指導」と「校内支援体制の構築」につながるもので、各園や各校にも共通する特別支援教育推進のための重要な考え方であると思います。是非本校のセンター的機能を活用していただき、様々な困難さを抱えた子どもたちが笑顔で園生活や学校生活を送ることができるように一緒に考えさせていただきたいと思います。今年度もよろしくお願いいたします。



## 本校のセンター的機能について

教育相談 就学や進学に関する相談を承ります。

学校見学 本校の授業参観、施設見学、体験学習、寄宿舎入舎体験ができます。  
体験学習 「くりたキッズルーム」では、就学前の幼児を対象に、小集団での活動、個別指導などを行っています。

教育活動支援

相談の依頼をいただいた幼稚園、保育所や学校等を訪問して実態把握をしたり、支援や対応について一緒に考えたりします。一回の相談だけでなく、継続的に情報共有をしていくことが大切です(就学前から対応しています)。

情報提供

本校ホームページ、地域支援通信「K-ライン」で本校の学習や支援について、また、就学や進学についての情報を紹介しています。特別支援教育に関わる図書や教材等の紹介と貸出も行っていきます。

理解啓発

学校間交流、居住地校交流、地域との交流を行っています。**障害理解学習**のお手伝いもしています。

研修等支援

「障害特性の理解」「教室環境の整え方」「効果的な支援について」などニーズに応じた研修会をお手伝いします。

特別支援学校  
体験研修

特別支援学級や通常の学級の先生方、特別支援教育に携わる方を対象に、本校にて授業参加や授業づくり等の体験的な研修を行います。オンラインでも対応します。

キッズルームの様子



理解学習の様子



本校地域支援部職員が小学校や中学校を訪問して行う相談については、秋田市教育研究所の教育相談担当に電話連絡(018-865-2530)をお願いします。その後、本校教頭(齊藤)と地域支援部で対応いたします。



## 就学・進学の相談はお早めに

本校小学部への就学、中学部・高等部への進学をお考えの場合は、早めの教育相談をお勧めします。

早い時期に進学先の学校を実際に見て体験することは、初めてのことに不安を感じる児童生徒にとって大変有効です。**本校では6月頃から教育相談が始まります。**各学部の体験学習も承ります。

進路について学習活動の計画を立てるときに、本校に来校しての教育相談や体験学習の予定(時期等)について、保護者と相談しながら検討を進めてくださるようお願いいたします。小、中学部への就学、進学をお考えの場合は本校教頭・大川へ、高等部への進学をお考えの場合は本校教頭・齊藤へ御連絡ください。なお、高等部では見学会を予定しています。詳細は本校ホームページを御参照ください。



秋田県立栗田支援学校 〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町 10-10  
TEL : 018-828-1162 ホームページ <http://www.kurita-s.akita-pref.ed.jp>  
FAX : 018-828-4720 メールアドレス [kurita-s@akita-pref.ed.jp](mailto:kurita-s@akita-pref.ed.jp)

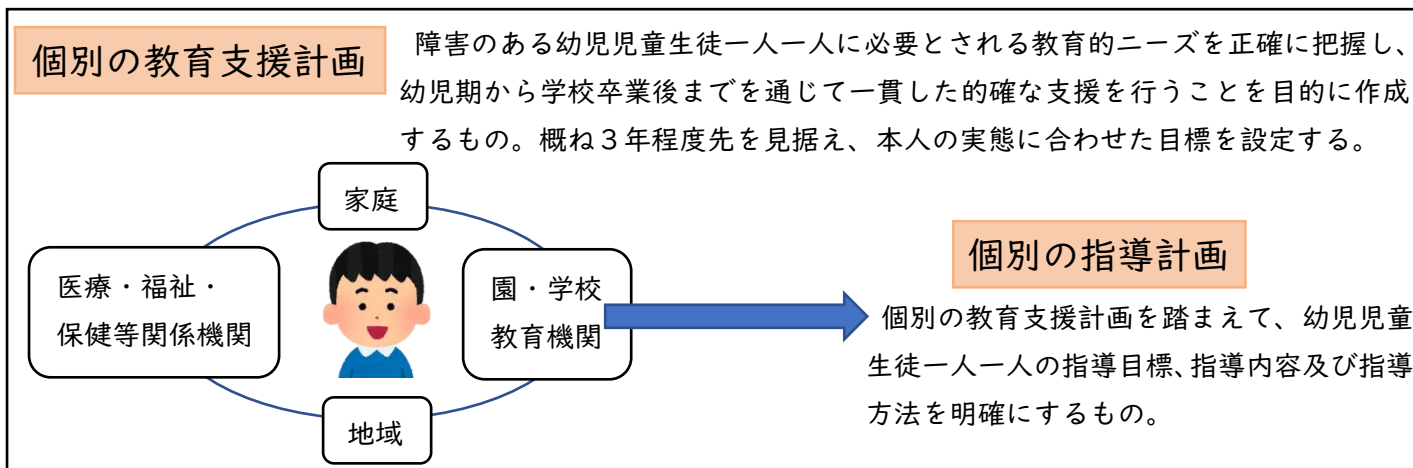


本校HP

教頭：齊藤 理香 教育専門監：牧野 幸枝 地域支援部：照井 真紀子  
特別支援教育アドバイザー：田口 睦子 (秋田市教育研究所 TEL018-865-2530)

# K-ライン

今回のK-ラインは、昨年度のアンケートでも御要望が多かった「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の作成の流れなどについて紹介します。



## 個別の教育支援計画作成の流れ

### 【本人の実態把握】

#### 【得意なこと、好きなこと】

- ・図鑑を見ながら虫の絵を描くこと
- ・箱を組み立ててロボットを作ること

#### 【苦手なこと】

- ・初めて取り組むこと
- ・説明したり、気持ちを話したりすること

本人からの聞き取りが難しい場合は、行動観察から気持ちを読み取ります。



### 【本人の願い】

みんなと話をしてもっと仲良くなりたい。一緒に遊びたい。



### 【保護者の願い】

いろいろな人に自分の気持ちを伝えられるようになってほしい。



### 【支援の目標】

- ・グループの友達や担任に気持ちを話したり、説明を定型文に沿って書き表したりする。
- ・物怖じせずに学習に向かうための条件や効果的な環境設定を見いだす。

合理的配慮については、本人や保護者と合意形成を図った上で決定し、記載します。



ここで【支援内容の検討】をすることで、より個に応じた支援につながるのにおすすめです！



### 【合理的配慮を含む支援の内容】

①-1-2	学習内容の変更・調整
・学習内容を予告したり、事前に発表練習をしたりする時間を設ける。	
①-2-1	情報・コミュニケーション及び教材の配慮
・漢字にふりがなを振ったり、単語や文節のまとまりが分かりやすいように区切り線を引いたりする。	
②-1	専門性のある指導体制の整備
・通級指導教室と連携し、ゆっくり気持ちを話したり、書き言葉にしたりする力を高める指導の充実を図る。	



## 個別の指導計画作成の流れ

### 【個別の指導計画(小・中学校等 通常学級の例)】

現在の実態	※疾病、体質・体調への配慮、生活リズム、安全等 ※身辺自立、生活習慣、運動・動作など基本的な生活動作 ※聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するなど ※長所、興味・関心、コミュニケーション、指示理解、約束、集団への関わりなど			
目指す姿 (目標)	※どのような姿を目指して指導するのかを記入 ①長期目標(1年) ②短期目標(1か月、3か月、学期等)			
優先順位	目標	指導内容、手立て等	児童生徒の変容	評価
1	※観察可能で、肯定的・具体的な目標を記入	※できる限り、具体目標を達成するための場面や具体的な手立てを記入	※どのように児童生徒の姿が変容したかを具体的に記入	※指導内容や手立ての妥当性・有効性を記入

1年後を見据えて、段階的で具体的な目標を設定します。



具体的な手立てを明記します。その際、段階的に支援を減らしていけるように考えると良いです。



## 個別の教育支援計画、個別の指導計画の評価

### 【個別の教育支援計画】

- ・ 中間評価、年度末評価などのタイミングで実施する。
- ・ 保護者面談等を受けて、支援目標や支援内容が適切であったか評価する。
- ・ 新規の支援情報はないかを確認する。

### 【個別の指導計画】

- ・ 半年ごと、学年末の年2回評価する。
- ・ 幼児児童生徒の変容など、目標に対する成果と課題を分析する。
- ・ 達成できない課題があったら、目標や指導内容、手立ての見直しをする。

<参照> 秋田県特別支援教育校内支援体制ガイドライン(四訂版) P30~39



秋田県立栗田支援学校  
TEL: 018-828-1162  
FAX: 018-828-4720

〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町 10-10  
ホームページ <http://www.kurita-s.akita-pref.ed.jp>  
メールアドレス [kurita-s@akita-pref.ed.jp](mailto:kurita-s@akita-pref.ed.jp)



本校HP

教頭: 齊藤 理香 教育専門監: 牧野 幸枝 地域支援部: 照井 真紀子  
特別支援教育アドバイザー: 田口 睦子 (秋田市教育研究所 TEL018-865-2530)

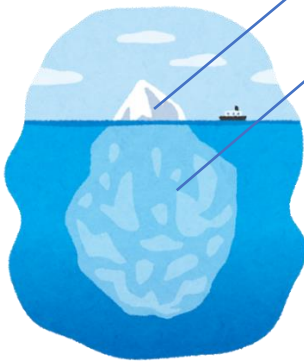
# K-ライン

秋田県立栗田支援学校  
地域支援通信  
令和7年度 第3号  
令和7年9月18日発行

本校では、「子どもからスタートすること」、「チームで取り組むこと」を大事にしています。今回のK-ラインでは、小学部の取組の一部を御紹介します。

## 「子どもからスタートする」ために「チームで取り組む」こと

### 「冰山モデル」の例



見えている姿

### かくれている要因、背景

得意、不得意、経験、体調、  
周囲の人との関係性、家庭で  
の様子、障害の特性など

### チームで取り組む！

「どうしてだろう」と考え、  
話し合うことが、よりよい  
指導・支援につながる。

→児童生徒理解に基づく指導

例) “注意されたことを繰り返す”

言葉での指示理解が難しい？  
望ましい行動が分からない？  
先生に見てほしい？  
頭が痛くてイライラしている？

### 指導・支援の例

視覚的に伝えてみよう  
正しい行動の練習をしよう  
楽しい時間を共有しよう  
休憩時間を取り入れよう など



## 小学部の紹介「日常生活の指導」～登校後の様子～



自分で荷物の準備をすることが難しい・・・

→やる事が分かるように、登校後の活動について  
手順カードを準備しました。

→手順カードは、情報量（文字、写真）と使いやす  
さを試しながら改良しました。

<活動全体が見える物> <今やるべき活動が見える物>



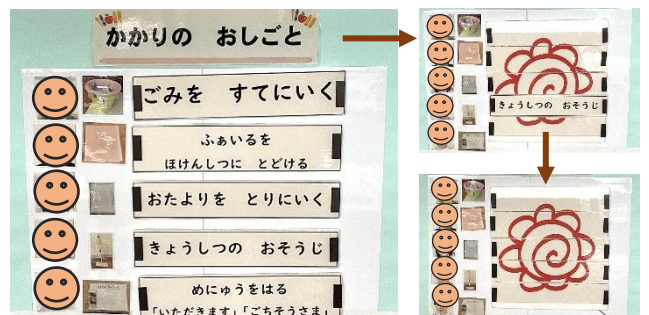
→自分から取り組むように、活動の最後に“お楽し  
み（読書や制作の時間）”を取り入れました。

自分から係活動に取り組むようにするには・・・



→文字と写真（実際に使う物の写真）を活用した  
ことで一人一人の役割が見やすくなりました。

→“終わったらカードを裏返す”ことで友達の様  
子が分かるようにしました。



全員できたら大きな花丸に！やる気もアップ！

子どもたちの思いや行動の背景も考えながら、  
その子が分かりやすい方法、納得できる  
方法を考えて試しています。



## 小学部の紹介「遊びの指導」～小学部1年生の取組～

Aさん 実態把握（本人・保護者の願い）



“思いっきり体を動かして遊びたいな”  
“友達と関わりながら過ごしてほしいな”  
“興味・関心が広がるといいな”

→個別の教育支援計画の作成（支援目標）

Bさんの  
支援目標



Cさんの  
支援目標



→年間指導計画の作成

- ・様々な素材や道具を取り入れる
- ・やりとりの場面を設定する
- ・思いっきり体を動かして遊べる安全な環境をつくる

### 「きらっとらんど～紙で遊ぼう～」

○まずは、素材に触れる時間を設定。教室の中は新聞紙のみで遊びました。



紙に触るのを嫌がり、窓の外を眺めていたAさんの様子から…

「見て楽しめるように、紙のカーテンを作って扇風機で揺らしてみよう」

紙をちぎって楽しんでいたBさんの様子から…

「遊び方が広がるように、ちぎった紙を入れる物を用意してみよう」

紙をちぎって“おばけ”に見立てていたCさんの様子から…

「もっと工夫して作ることができるように、素材や道具を増やしてみよう」

○子どもたちの様子からコーナー設定。仕掛けや道具を少しずつ増やしていきました。

コーナーを設けたことで、  
同じ遊びに興味のある友達  
と関わりが広がりました。



「つくってへんしんコーナー」

（お花紙、プラスチック容器、セロハンテープを準備）

- ・「私もお弁当を作りたい」と友達をまねたり、道具の貸し借りをしたりして遊ぶ様子が増えました。

「さわってかみかみコーナー」

（ちぎった新聞紙のプールとシャワーを設置）



- ・ちぎった紙を教師や友達と掛け合って遊ぶようになりました。
- ・シャワーの仕掛けが気に入り、自分から繰り返し遊ぶ様子も見られました。

「しんぶんカーテンコーナー」



- ・揺れる様子を見て楽しんだり、自分から手を伸ばしたりするようになりました。

遊びの終わりは“片付けの歌”や“片付けマン”  
の登場で気持ちを切り替えて取り組みました。



障害理解学習  
児童生徒の皆さん

キッズルーム  
就学前のお子さん

研修会  
特別支援教育に携わる方

教育相談  
就学・進学・転学  
をお考えの方

教育活動支援  
学校 幼稚園  
保育所等

県央地区高等学校特別支援チームより 研修会「気になる生徒の支援について」 詳細は次のページ！

御連絡ください



秋田県立栗田支援学校  
TEL：018-828-1162  
FAX：018-828-4720

〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町 10-10  
ホームページ <http://www.kurita-s.akita-pref.ed.jp>  
メールアドレス [kurita-s@akita-pref.ed.jp](mailto:kurita-s@akita-pref.ed.jp)



本校HP

教頭：齊藤 理香 教育専門監：牧野 幸枝 地域支援部：照井 真紀子  
特別支援教育アドバイザー：田口 睦子（秋田市教育研究所 TEL018-865-2530）

県央地区高等学校特別支援チーム

# 高等学校 特別支援教育 研修会 の御案内

県央地区の高等学校における特別支援教育についての情報提供を行い、特別な支援を必要とする生徒の支援と校内支援体制の充実に寄与することを目的とした研修会です。

今年度は個別の教育支援計画や、特別な配慮が必要な生徒への日常的な関わり等についての実践をお二人の先生から御紹介いただきます。

## 気になる生徒の支援について 学びませんか？

たくさんの御参加をお待ちしております！

### 期日・会場

◇ 令和7年10月15日(水)14:00~16:00

◇ 明德館ビル2階 カレッジプラザ講堂

(〒010-0001 秋田市中通二丁目1-51)

### 演題・講師

#### ◇ 実践紹介1

「高校での実践を意識して～現場に広がらない悩ましい課題～」

男鹿海洋高等学校 教頭 澁谷 明人 氏

#### ◇ 実践紹介2

「本校で心掛けていること」(仮)

秋田明德館高等学校定時制課程 教諭 亀井 学 氏

### その他

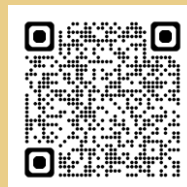
◇ 受付は 13:30~13:55です

◇ お車でお越しの際は近隣の有料駐車場を御利用ください。

◇ お問い合わせ、申込み

県央地区事務局 栗田支援学校  
Tel 018-828-1162 FAX 018-828-4720  
教頭 齊藤 または 地域支援部 牧野まで

申込みはこちらから  
(またはFAXで)



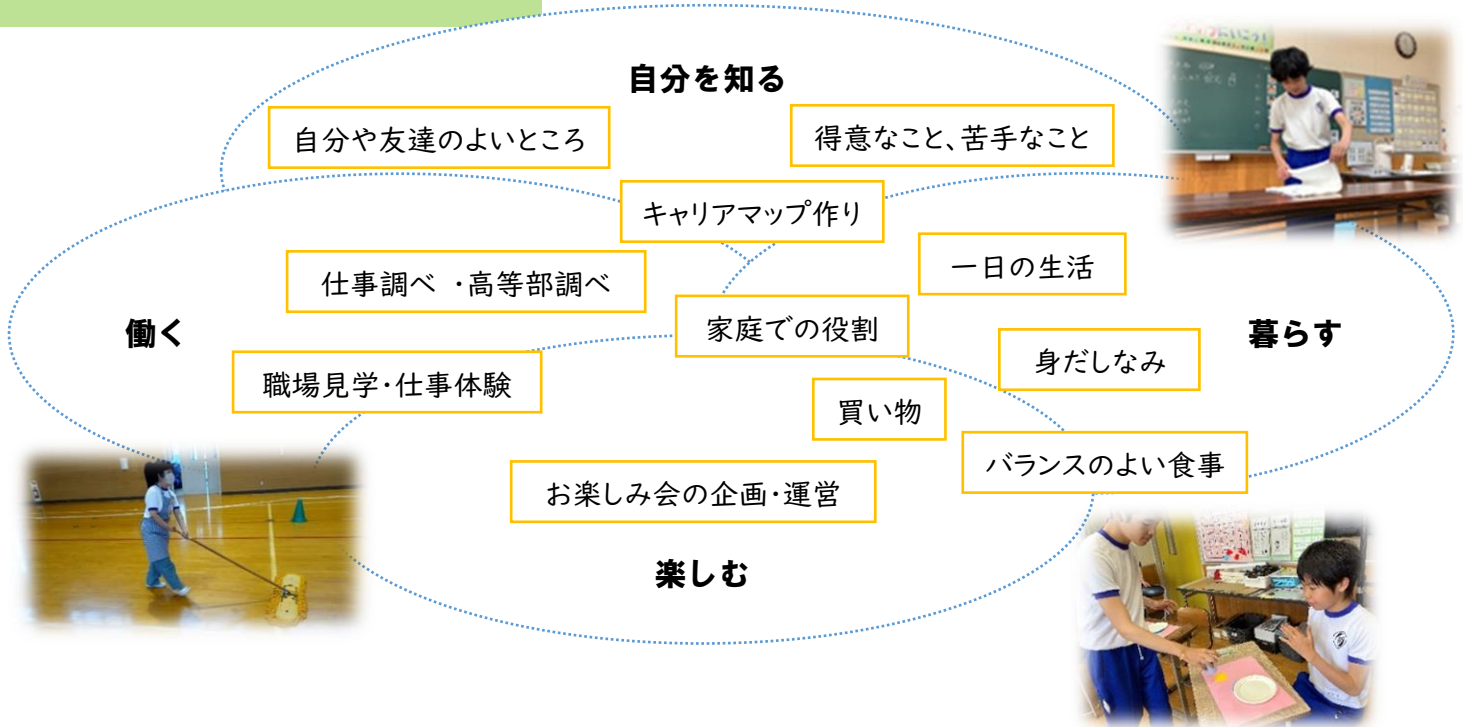
10月8日(水)までお申し込みください

# K-ライン

秋田県立栗田支援学校  
地域支援通信  
令和7年度 第4号  
令和7年11月17日発行

今回のK-ラインでは、中学部の取組から「進路学習」を御紹介します。中学部では、生活単元学習の中で週に2時間「進路学習」を行っており、自分を知ることや働くこと、暮らすこと、楽しむことについて、次のような学習に取り組んでいます。

## 中学部進路学習の内容



例として、中学部2年生の仕事体験の学習について紹介します。

## 中2「仕事体験～もっと知ろう！仕事、自分～」

### 生徒の実態



- ・友達同士の会話を楽しむ。
  - ・自分の考えに自信がもてず、発言したり行動したりすることに消極的な面がある。
  - ・見たり経験したりすることで感想や意見を話すことができる。
- 高等部の校内実習を見学したときの感想  
「難しそう」「自分にできるかな」「やってみたい」

学年の職員で話し合い、様々な視点から生徒の実態を捉えます。

### 考えられる背景



- ・人と関わるのが好き。
- ・興味・関心の幅が狭い。(経験不足も要因?)
- ・知らない人や知らないことへの不安感が強い。
- ・不安を解消することで主体的に活動できる。
- ・働くことや大人になることに憧れがある。

## 単元の目標

見学や体験を通して働くうえで大切なことに気付く。

仕事や働くことに関心を持ち、自分がやりたいことを考える。

## 授業計画（総時数 12 時間）

< 知 る > 見 学…本校高等部総合サービス科（家政、福祉、流通サービス）

話し合い…知っている仕事や興味のある仕事について

< 体験する > ①接客～喫茶（水の提供）

②掃除～スクイージーでの窓拭き、モップでの床掃除

③介護～車椅子の介助

< 振り返る > 体験を通して分かったことや感じたこと



## 授業の一例

### 「介護～車椅子の介助」

- ・車椅子の各部分の名称や扱い方を知る。
- ・友達と交替で車椅子に乗り、介助する側とされる側の立場を体験する。
- ・乗降の仕方、曲がり角や段差などの進み方を話し合う。
- ・体験の様子の動画を見て感想を出し合い、振り返る。



段差があるときは後ろ向きにすると進みやすいね

進むときに「進みます」と言われたら安心だったよ



☆経験を繰り返すうちに、車椅子操作のコツをつかみ、自分たちで考えて操作するようになりました。

☆振り返りでは、体験で気付いたことについて自信をもって発言する姿がありました。

## 授業づくりで大切にしたいこと

- ・体験を通して生徒の気付きや考えが生まれるような教材研究  
（車椅子操作で大切な部分にシールを貼る、操作のコツに気付くような場面設定、動画やチェック表を用いた振り返り等）
- ・体験の振り返りや生徒の発言等を記録に残して積み重ねること
- ・体験を通して勤労観（役に立ててうれしい、誰かのために何かをすることが楽しい）を育むこと  
友達同士や身近な教師にとどまらず、日頃関わりの少ない相手（他学部の職員や管理職など）を活用するのも有効な方法  
⇒相手がどう感じているかを考える想像力を鍛え、そのうえで自分がどうしたらよいか考えられるようになることが大切



秋田県立栗田支援学校 〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町 10-10

TEL：018-828-1162 ホームページ <http://www.kurita-s.akita-pref.ed.jp>

FAX：018-828-4720 メールアドレス [kurita-s@akita-pref.ed.jp](mailto:kurita-s@akita-pref.ed.jp)



本校HP

教頭：齊藤 理香 教育専門監：牧野 幸枝 地域支援部：照井 真紀子

特別支援教育アドバイザー：田口 睦子（秋田市教育研究所 TEL018-865-2530）

今回のK-ラインでは、栗田支援学校の高等部について、よくいただくご質問にお答えします。



## 栗田支援学校高等部とは？

Q 栗田支援学校の高等部ではどんな学習をしますか？

A 本校の高等部には、普通科と総合サービス科があります。両科ともに生活する力や働く力を高め、卒業後の進路実現を目指した指導を行っています。

### 普通科

**作業学習**：作業学習は、作業活動を学習活動の中心にしながら、児童生徒の働く意欲を培い将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習するものである。

＜特別支援学校学習指導要領解説総則等編より＞

普通科の教育課程は「各教科等を合わせた指導」が中心となっています。その中でも働く力を身に付けるための学習として「作業学習」が週10時間設定されています。1年生から3年生までの縦割り農園芸、木工、陶芸、クラフト、環境整備、事務広報、ガラス工芸、食品加工の8つの作業学習班に分かれ、製品作りや清掃、販売活動等を行っています。



### 総合サービス科

総合サービス科は「家政」「流通・サービス」「福祉」の専門教科の学習に力を入れています。1年次は基礎の学習を行い、2年次、3年次はより専門的・体験的な学習をします。

**家政**：飲食提供実習（ランチくりた）、接客、調理技術演習

**流通・サービスA**：外部清掃実習（コンビニ、スーパー、保育園等）、校内清掃実習

**サービスB**：事務体験実習、物品保守管理、事務補助作業（印刷、丁合、封入、データ入力等）

**福祉**：介護実習、介護技術演習、家事援助、介護職員初任者研修の受講



Q 現場実習とはどのようなものですか？

A より実践的に、職業生活に必要な知識や技能、態度などを身に付け、自分の適性を知り、将来の生活に具体的なイメージをもつために、実際の職場で仕事をさせていただき現場実習を行います。

普通科では2年生から、総合サービス科では1年生の後期から行います。3年生は必要に応じて、卒業後の進路決定のための個別実習を行います。

※例 2年生現場実習 前期（6月）、後期（11月）各2週間

スーパーマーケット（品出し、惣菜作り）、飲食店（調理補助、食器の洗浄）

高齢者施設（介護補助）、物流倉庫（ピッキング）、就労継続支援A型事業所（タオル畳み）

Q 栗田支援学校高等部を卒業しても「高卒資格」にはならないのですか？

A 教育課程や学習内容が一般の高等学校とは異なるため、「高等学校卒業資格」は取得できません。卒業後大学等への進学を考えている場合は、進学したい学校等の入学に関する条件を確認することが必要です。

Q 高等部卒業後の主な進路はどうなりますか？

A 高等部卒業後の進路には、就職や進学、就労支援サービス利用等様々な選択肢があります。

◇一般就労：民間の企業等に就職します。

◇以下のような障害福祉サービスを利用して働いたり、生活したりします。

**生活介護** 常時見守りや支援を必要とする人が安定した生活を営むために、食事、排せつ、入浴の他創作的な活動や生産活動を提供しています。

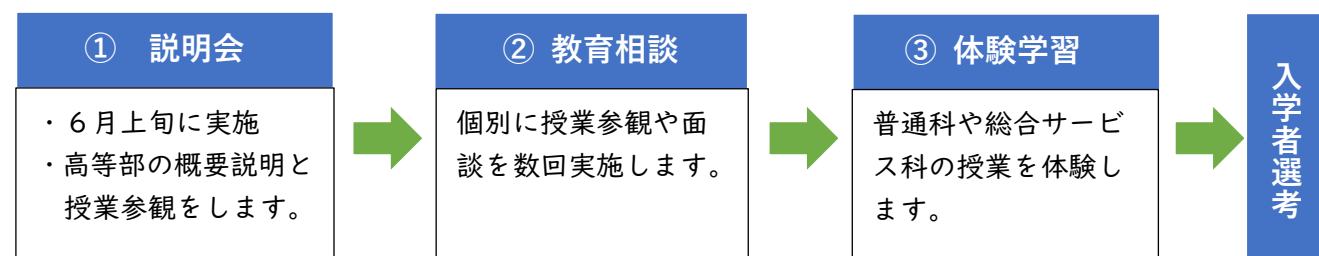
**就労継続支援 A 型** 雇用契約を結び、賃金をもらいながら利用します。雇用契約に基づきながら企業への就労を目指します。

**就労継続支援 B 型** 通所をして軽作業等を行い、工賃をもらいながら利用します。本人の特性や体調に合わせて自分のペースで働くことができます。

**就労移行支援** 障害のある人が企業への就労を目指す際にサポートしてくれる障害福祉サービスです。仕事に役立つスキルの習得や就職活動を支援し、就職後は職場で働けるようサポートします。  
※秋田市の障害福祉サービスの一覧は、秋田市のホームページに載っています。

Q 高等部入学者選考までの主な流れを教えてください。

A 高等部の受検には、必ず教育相談、体験学習が必要です。本校並びに高等部の教育を十分理解し、適切な進路選択をするために実施します。



本校高等部については、ホームページ内の「学部紹介」や「行事」(学習活動の様子を掲載しています)をご覧ください。進学をお考えの場合は、早めの教育相談をお勧めします。早い時期に進学先の学校を実際に見て体験することは、初めてのことに不安を感じる生徒にとって大変有効です。



秋田県立栗田支援学校 〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町 10-10

TEL : 018-828-1162 ホームページ <http://www.kurita-s.akita-pref.ed.jp>

FAX : 018-828-4720 メールアドレス [kurita-s@akita-pref.ed.jp](mailto:kurita-s@akita-pref.ed.jp)

教頭：齊藤 理香 教育専門監：牧野 幸枝 地域支援部：照井 真紀子

特別支援教育アドバイザー：田口 睦子 (秋田市教育研究所 TEL018-865-2530)